

オンライン診療・服薬指導プラットフォーム「SOKUYAKU」 料金体系改定に関するお知らせ

2027年5月期 業績予想（2026年7月15日公表「2026年5月期通期決算 2027年5月期通期計画について」）の補足説明資料

本資料は、2026年5月期 通期決算の発表後、投資家の皆さまより「SOKUYAKU事業がなぜ伸びるのか」とのお問い合わせを多数いただいたことを受け、その主要ドライバーの1つとなる料金体系改定について補足的にご説明するものです

2026年7月21日
ジェイフロンティア株式会社
【証券コード：2934】

➤ クリニック・薬局向け料金体系を改定し、**初期費用・月額利用料等を新設**（ユーザー向け料金は変更なし）

クリニック向け

提携クリニック数 **約4,000** 院

項目	改定前	改定後
初期費用	—	新設
月額利用料	—	新設
システム利用料 （従量課金）	あり	継続（変更なし）

薬局向け

提携薬局数 **約20,000** 店舗

項目	改定前	改定後
初期費用	—	新設
月額利用料	—	新設
システム利用料 （従量課金）	—	新設

※新規のお取引先より新料金の適用を開始しており、既存のお取引先についても順次適用を進めています

改定前

従量課金（クリニックのみ）



改定後

初期費用

月額利用料（ストック収益）

従量課金（クリニック・薬局）

契約1件あたりの収益レイヤーが

1層 → 3層 に拡大

増収分に追加的な費用はほとんど発生せず、利益に直結

➤ 増収に際して追加的な費用は原則発生せず、**増収分は概ねそのまま営業利益の増加に寄与**

改定の背景

カスタマーサクセス体制の強化

導入時・運用時のサポート品質を向上

システム改修による機能・利便性の向上

医療機関・薬局の業務効率化に資する機能を拡充

サービス価値に見合う料金体系への見直し

提供価値の向上を踏まえ、対価を適正化

※上記の体制強化・システム改修に係る費用は、既存の事業計画（費用計画）に織込み済み



収益構造への効果

新料金の提供にあたり追加の原価・販管費は原則不要

既存のシステム・体制の範囲内で提供可能（限界費用が極めて小さい）

月額利用料によるストック型収益の積み上げ

契約数の拡大に応じて安定収益が累積

薬局向け従量課金の新設

処方せん応需の拡大がそのまま収益成長に連動

増収 ≡ 営業利益の増加

本改定の効果は、2027年5月期 連結営業利益計画 **312百万円 → 1,050百万円（+236.2%）**
に織り込み済みであり、SOKUYAKU事業の利益成長を牽引する主要ドライバーの一つ

- 防災・国土強靱化、規制緩和の追い風と料金体系改定により、SOKUYAKU事業は**中期的に高い売上成長の継続**を見込む

SOKUYAKU事業売上高の推移（2024/5期 = 100として指数化）

- 国策「防災・国土強靱化」との強い関連性
- 改正医療法・改正薬機法等の規制緩和
- 料金体系改定



